



飢餓という運命を覆す

あなたの思いやりが、空っぽのお腹を満たし、希望を思い出させ、いのちを救います。

常時スポンサー募集中！

お申込はこちらから⇒

<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>

今月の引き落とし日！

3月27日(金)です。口座をご確認ください！



今月号の目次

- P2～3…世界のメトロの子どもたちの置かれている状況について
- P4…日本事務所から大切なお知らせ

飢餓という 運命を覆す

子どもたちの未来が、
ただ一度の食事にかかっている時。

世界中の子どもたちが、毎日、慢性的な飢えに苦しんでいます。それは、私たちが昼食や夕食の1時間前に経験するような空腹とは違います。長期間にわたる飢えによる、刺すような痛みであり、次にいつ、あるいは果たして再び食べることができるのかさえ分からないという苦しみです。

貧困。干ばつ。洪水。紛争。戦争。子どもたちは、このような環境の中に自ら望んで生まれたわけではありません。しかし、彼らはその中に生きており、生き残るために必死に努力しています。ニューヨークでさえ、4人に1人の子どもが、しばしば飢えを経験しています。

主がメロに伝道のための新しい扉を開いてくださるたびに、私たちは一人ひとりの必要に応え、飢えたお腹を満たす機会をいただきます。これは、パートナーとしてご支援くださるスポンサーの皆様、寛大で誠実なご支援があるからこそ実現できることです。

皆様は、飢餓という運命を覆す手助けをしてくださることで、子どもたちの人生を変えてくださっています！

皆様のおかげで、メロ・ワールド・チャイルドは現在、世界中で毎週180万人近くの子どものために関わり、手を差し伸べることができています。これらの子どもたちの大部分は、健康や就学に問題を抱え、そして未来への希望を奪ってしまうほどの食糧不足に直面しています。

私たちは、空腹と栄養失調のために、学習意欲も生きる力も失っているこれらの子どもたちに食事を提供し、キリストの愛を示すことに全力を注いでいます。ニューヨークであろうと、アフリカの最貧困にあえぐ地域であろうと、皆様の寛大なご支援は、単に子どもの一日分の食事を賄う以上のことを成し遂げるのです。

イエス様が彼らを愛し、彼らの人生にご計画を持っていることを伝えているのです。子どもたちに食べ物だけでなく、キリストを通じた永遠の命を届けること、それこそが究極の使命です。

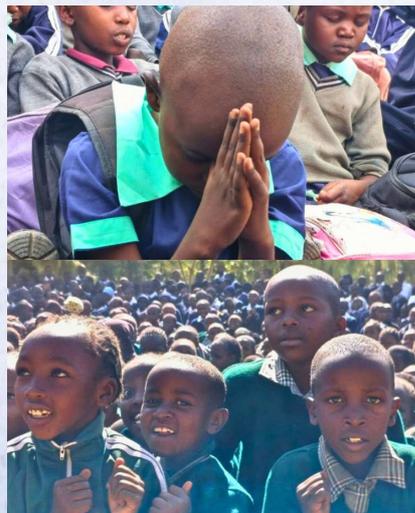
飢えて 失神する 子どもたち

飢えていると、子どもたちは学
ぶことができません。

アフリカのブルンジでは、5歳未満の子どもの半数以上が、深刻な栄養失調のために成長が阻害されています。また、約200万人が危機的なレベルの食糧不安にあると見なされています。私たちが支援している現地の学校では、驚くほど多くの子どもたちが、何日も、何も食べていないか、ほんの少しの食料しかない状態にあります。メロのスタッフは、子どもたちがこれ以上苦しまないようにと、我が子を殺めることまで考えるほどに追い詰められている母親たちと話をすることもあります。

メロの教会学校で、「悪は神から来るものではない」というレッスンをした後、一人の少女がクラスで気を失って倒れました。地面に倒れる前にメロのスタッフが急いで抱きとめましたが、彼女が、前日から何も食べていなかったことがわかりました。私たちは、すぐに彼女に食べ物と飲み物を与え、彼女のために祈りました。彼女が体力を回復させると、教師たちはメロのチームに対し、私たちの活動が単に教えるだけでなく、できる限りの方法で子どもたちの幸福を実現していることを認め、深い感謝を表明してくれました。

ブルンジだけでなく、アフリカの多くの地域や国が、同じような状況にあります。



お母さんと 食べるんだ —ケニア



飢えた子どもたちに栄養豊富な食事以上のものが与えられています。

スポンサーの皆様のご支援によって実現したメトロの給食プログラムは、支援を受けている子どもたちが、毎日学校で温かいランチを確実に食べられるようにしています。ある日の放課後、私たちのチームは一人の少年が小さな容器を両手に抱え、静かに歩いているのに気づきました。彼はそれを、まるで大切なものを守るかのように持っていました。

中に何が入っているのか尋ねると、彼は恥ずかしそうな笑みを浮かべて蓋を開け、自分の学校給食の豆とトウモロコシが入っているのを見せてくれました。彼は蓋を閉めながら言いました。「お母さんに持って帰るんだ。今、お母さんは病気で、昨日から何も食べていないから。二人で分けて食べるんだ」。8歳にも満たないこの少年は、学びに集中できるようにと給食の支援を受けているにもかかわらず、自分にできる唯一の方法でお母さんを助けたいと願ったのです。

メトロのチームメンバーの一人が、ためらうことなく持ち合わせていた備蓄品の中から、彼に2袋のトウモロコシ粉を渡しました。彼の目は、お母さんを助けるために、こんなに多くのものを家に持って帰れるという安堵と喜びで輝きました。

メトロのチャイルドスポンサーになることは、単なる給食や学費の支援以上のものを意味します。それは、極貧の中であまりにも多くの苦難に耐えてきた子どもたちや家族の心に、尊厳、思いやり、そして、希望を植え付けるのです。

ニューヨークでは、食事を囲む機会を

必要に応えられるようにして下さり、ありがとうございます！

昨年11月、ちょうど感謝祭の時期に、アメリカ史上最長の政府支援中止により、ニューヨークに住む多くの家族が大きな打撃を受けました。食事を食べられないことが多い子どもたちにとって、SNAP（緊急支援プログラム）の給付が打ち切られたことは、まさに危機的状況でした。

メトロではバスを出し、何百人ものメトロの子どもたちとその家族を迎えに行き、感謝祭の食事を楽しんでもらいました。

5歳の男の子は、会場に到着した時、とてもお腹を空かせていて、チキンが4ピースもあっという間に平らげ、もっと食べたいとしきりにねだっていました。山盛りの食事を食べて、とても喜んでいました！

6人の子どもの抱えるシングルマザーのジャニーンは、信じられないほど懸命に働いていますが、政府の支援がない数週間は特に大変でした。

私たちが、彼女と6人の子どもたちを迎えに行くと、大喜びで感謝してくれました。食事中ずっと、子どもたちは喜びに満ち、笑い、話し、食事をじっくりと味わっていました。帰る前に、私たちは残った料理を詰めた持ち帰り用の箱をいくつか渡しました。ジャニーンはその箱をしっかりと握りしめ、何度も何度も私たちに感謝していました。その日、彼女の家族が味わった食事だけでなく、皆様からの思いやり、尊厳を取り戻させてくれたこと、そして、希望を持つことができたことに対して、感謝の気持ちを表してくれました。



ニューヨークの
危機に瀕した家族の
ために、
信仰を行動に移して
くださり、
感謝します！

*プライバシー保護のため、メトロレポートでは一般的な名前と写真を使用しています。

こちらをご覧ください。メトロ紹介&申込サイト
<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

注意! フェイクにご注意を!

偽のSNS、メール、動画などが自由に作れる時代になりました。専門家でも本物かどうか見分けがつかないほどです。「新しい働きのために」などという名目に騙されて献金を送金されないように、くれぐれもご注意ください。

メトロ本部では、Facebook やインスタなど、様々なメディアを使用して活動内容を発信していますが、ビル先生やスタッフが、直接献金を依頼することはありません。メッセージやその他の方法で、個人的に連絡することや友達申請することもありません。

安全のため、メトロの働きやビル先生へのご支援は、必ず日本事務所を通してお送りください。

現在開催中のキャンペーン!

現在行っているキャンペーンはありませんが、スポンサーとインターンシップは常時受け付けております。

4月号でアメリカとフィリピンのサマーキャンプのご案内を差し上げます。

また、ご支援いただいています子どもの誕生日の前月には、お知らせの手紙を同封しますので、必ず開封して中をご確認ください。ご自身の状況に合わせてプレゼントをお考えいただければ幸いです。

口座引落手続きをされている方は、翌月のお引き落としに加算することもできますので、お振込みの必要もありません。



お引き落とし日は、お申込日の翌月です。

注意! 本部が移転しました!

メトロの働きの体制を整えて、今後の急拡大に備えるために、メトロの本部を移転しました。子どもへの手紙やプレゼントをアメリカに直接送られる方はご注意ください。アメリカへの発送は、以下の所在地にお送りください。

Metro World Child

ここに子どもの ID と名前をローマ字で記入
475 Riverside Drive, Floor 17
New York, NY 10115 USA

転送はされないと思いますので、くれぐれもご注意ください。

手紙は、日本事務所にお送りいただければ、まとめて発送します。アメリカの規制が厳しく、手紙の中に物を入れるのは難しい状況です。

日本事務所よりごあいさつ!

急激な気温の変化が続いている地域や、すでに春を感じる地域もありますが、体調は追いついているでしょうか?

先月ご報告しましたように、本部はすでに移転を済ませました。ニューヨークは大雪に見舞われて、移動が困難な日もあるようですが、スタッフは休むことなく働きを継続しています。ビル先生とスタッフの体調が守られて、さらに良い働きができるようにお祈りください。

世界中で戦争などの話題が頻発し、その影響を一番受ける子どもたちが増えていることを思うと心が苦しくなります。だからこそ、メトロの働きはますます重要となっています。人間は愚かでいつまでも同じことの繰り返しですが、ひとりが変わることによって世界を変えるしか方法はありません。失望せずに働きを続けます。

皆様の上にも神様からの豊かな守りと、驚くばかりの祝福がありますようにと祈ります。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座5-14-6

橋ビルII 7階 TFC内

電話 03-6264-7370 (松山事務所 089-992-9020)

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン